

地球温暖化防止対策

地球温暖化防止のために、工場や事務所での省エネルギー対策や物流改善・リサイクルの促進など、さまざまな活動に取り組んでいます。

省エネルギー対策

地球温暖化防止のためには、CO₂発生量の抑制が欠かせません。FDKグループでは、コージェネレーションなどの省エネルギー対策設備の導入や既存設備の運用管理改善などによるエネルギー使用量の削減活動を行っています。

第三期環境行動計画の目標

エネルギー消費CO₂を2006年度末までに2000年度実績比15%削減する。

■国内事業所におけるエネルギー消費CO₂を2006年度末までに2000年度実績比15%削減する。

省エネルギー活動

2006年度は、昨年度に引き続き以下のような省エネルギー対策を実施してきました。

- コンプレッサーや空調機などの設備の改善や省エネ型への更新による省エネルギー対策
- 設備の運転条件や運用管理見直しによる省エネルギー対策
- 建物の断熱や外気の導入などによる省エネルギー対策
- オフィスでの空調温度の適正化、照明のインバータ化、OA機器の節電対策

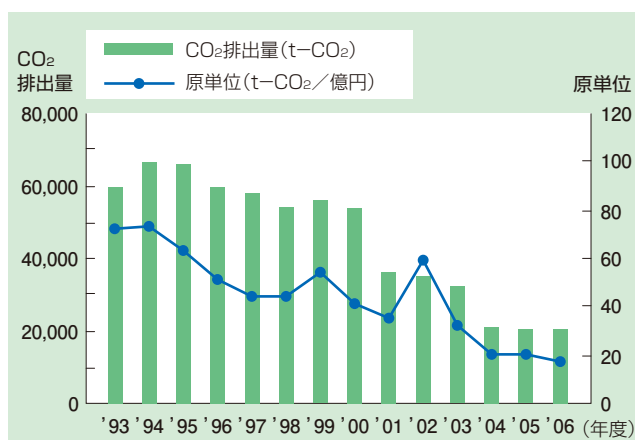
また、全社生産革新運動での省スペース化により、従来よりも少ないエリアでの仕事を可能とし、これによって冷暖房や照明などのエネルギーを削減することもできました。これらの活動の結果、CO₂の排出量は20,460トンとなり、昨年度比では0.6%減少しました。第三期環境行動計画の目標である2000年比15%削減に対しては、62%の削減となり大幅に目標を達成することができました。これは、省エネルギー活動に加え、事業構造改革に伴い焼成炉などでエネルギーを多く消費するフェライトの生産から電子モジュール製品への生産にシフトしたことが大きく寄与しています。

なお、FDKグループの国内事業所では、京都議定書の削減目標である「温室効果ガスの排出量を1990年比6%削減する」を既に達成しています。

CO₂以外の温室効果ガスについて

当社グループはCO₂以外の温室効果ガスの排出がないことから、CO₂の排出削減について取り組んでいます。

CO₂排出量の推移

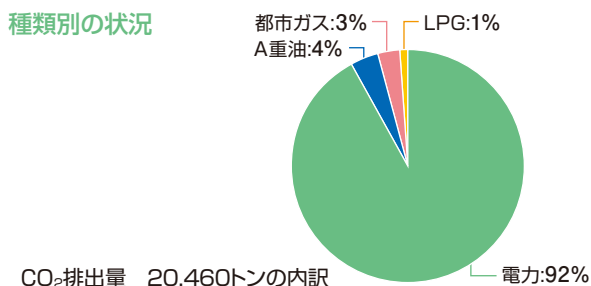


CO₂排出量

年度	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99
CO ₂ 排出量	59,259	66,393	65,785	59,697	58,072	54,263	56,024
CO ₂ 排出量	53,998	36,155	35,009	32,268	20,429	20,575	20,460

※換算係数の見直しなどにより、これまでの排出量を見直いたしました。

種類別の状況



今後の取り組み

第四期環境行動計画の中で、エネルギー消費CO₂排出量を2010年度末までに2006年度実績比2%削減することを目標として取り組んでいきます。

第三期環境行動計画の目標に対する結果

■国内事業所におけるエネルギー消費CO₂を62%削減した。



地球温暖化防止対策

物流改善などによるCO₂削減活動

FDKグループではCO₂排出量削減のため、事業所内での省エネルギー活動に加え、使用する部品や原材料の調達、製品の輸送・使用・廃棄・リサイクルの過程での取り組みも進めています。お取引先からお客様までの物流においては、生産効率の向上を目的とした「事業革新活動」の中でグローバルな展開を行っています。

第三期環境行動計画の目標

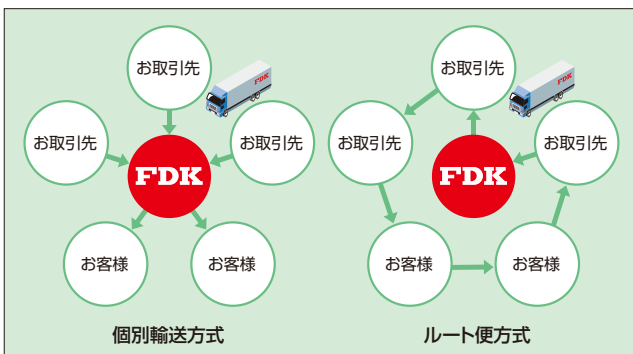
物流・リサイクル・省エネ製品等により削減貢献。

■物流改善、製品・包装材のリサイクル、省エネ製品の開発および購入によりCO₂の削減を促進する。

ルート便の全国展開と共同輸送への取り組み

FDKからお客様までの製品輸送および、お取引先からFDKまでのトラック運搬を従来の個別輸送方式から、多地点を巡回して搬送する形態の「ルート便方式」を国内全域へ展開してきました。この方式により納入リードタイムや仕掛品の削減だけでなく、トータルの運送距離を短くすることでトラックから排出するCO₂の削減を目指しています。2006年度からは、さらにトラックの積載効率を向上させるために、他社の荷物と混載で輸送する「共同輸送」にも輸送事業会社の協力を得て取り組んでいます。

配送形態図



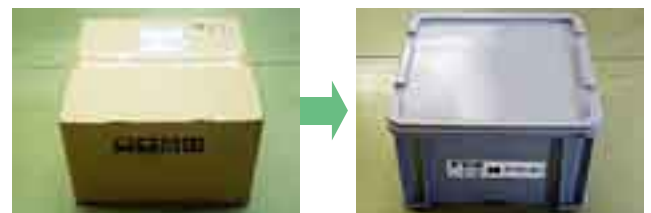
ルート便の国内全域への展開



梱包改善による輸送時の積載効率向上

FDKで使用している原材料・製品の梱包材は、従来は主に段ボール箱を使用していましたが、お取引先およびお客様の協力を得て、リサイクル利用が可能な通いコンテナ (TPトレイ) を順次拡大しています。そして、段ボール包装品においても包装材を削減するなどの積載効率向上のための改善を進めています。これらの改善でトラックへの積載効率を向上させることで輸送時のCO₂削減に努めています。また、包装材となる資源の使用量削減にも貢献しています。

そして、FDK全社で取り組んでいるTPS (トヨタ生産方式) の推進により「ムダなモノを輸送しない」「必要なモノのみ輸送する」の思想で輸送量の最適化・最小化にも努めています。



今後の取り組み

2006年4月から改正省エネ法が施行され、荷主においては、自らの事業活動に伴って委託あるいは自ら輸送している貨物の輸送量が年間3,000万トンキロ以上の事業者には該当する場合は、「貨物の輸送量届出書」の提出が必要となりました。FDKは、これに該当していないので報告義務はありませんが、引き続きこれからの第四期環境行動計画においても輸送CO₂の削減に取り組んでいきます。

第三期環境行動計画の目標に対する結果

■配送ルート見直し、積載効率向上、通いトレイ等によりCO₂の削減に貢献した。